

2011年みんなスマイルキャンペーン アンケート結果報告

この報告書は、JSMI(日本OTC医薬品協会)のウェブサイト「上手なセルフ
メディケーション」(<http://www.jsmi.jp/>)で2011年7月～8月に実施した
アンケートの結果を取りまとめたものです。

このアンケート結果統計や、お答えいただいた様々な方の意見を活用し、
更なる向上を目指したいと考えます。

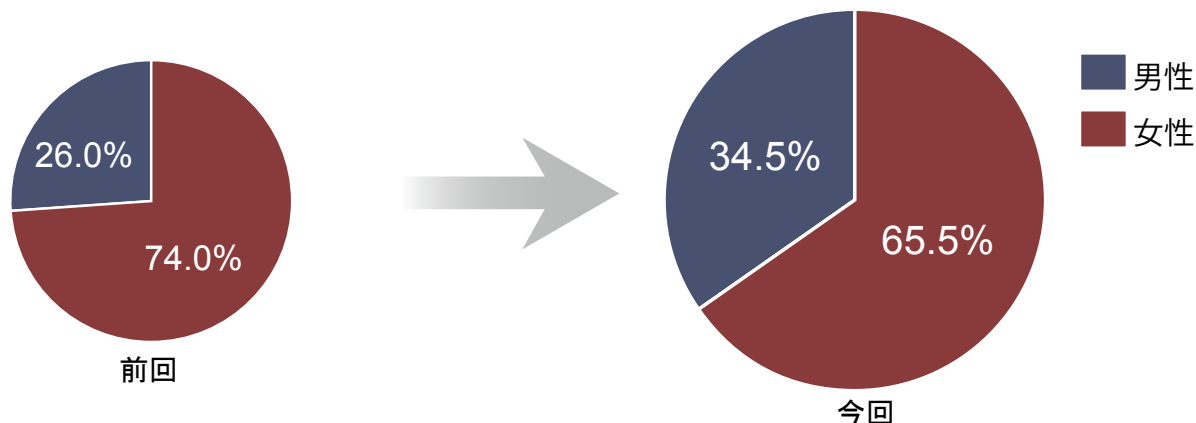
2011年12月
日本OTC医薬品協会



属性 応募者のプロフィール1

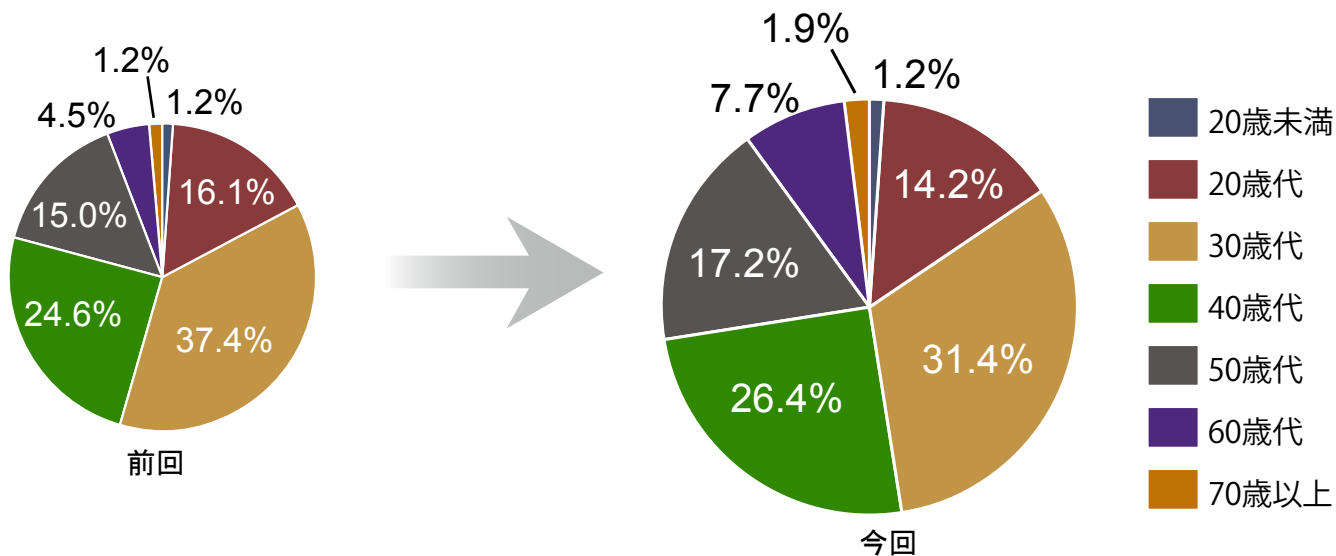
性別・年代別

性別



性別	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	総計	性別構成
女性	76	1,042	2,228	1,492	789	255	49	5,931	65.5%
男性	35	247	614	895	767	442	119	3,119	34.5%
総計	111	1,289	2,842	2,387	1,556	697	168	9,050	100.0%
年齢別構成	1.2%	14.2%	31.4%	26.4%	17.2%	7.7%	1.9%	100.0%	

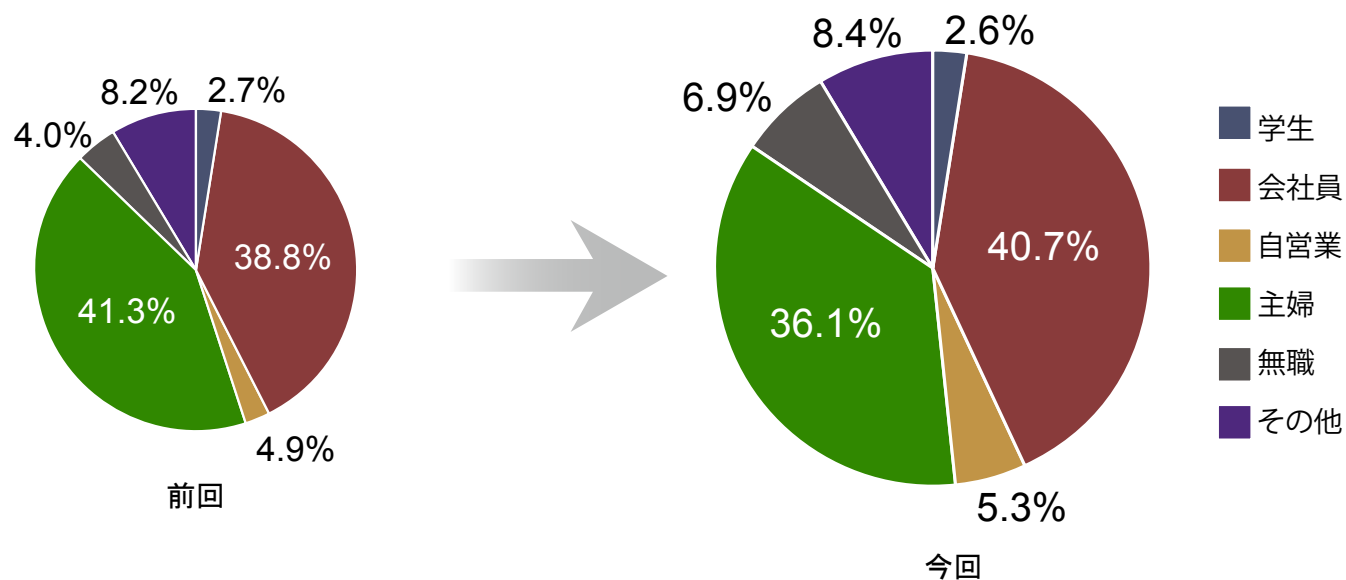
年代別



有効応募者数は9,050名に達し、過去最高の応募となりました。男女別では、女性が2/3を占めますが、過去のキャンペーンと比較すると、男性の応募者が大幅に増加しました。懸賞サイトで告知をした事によるものと考えられます。

年代別では、女性は30～40歳代、男性は40～50歳代の応募が多い結果となりました。男女併せると20～30代で全体の半数を超えており、若年層の応募が増加しました。

職業別

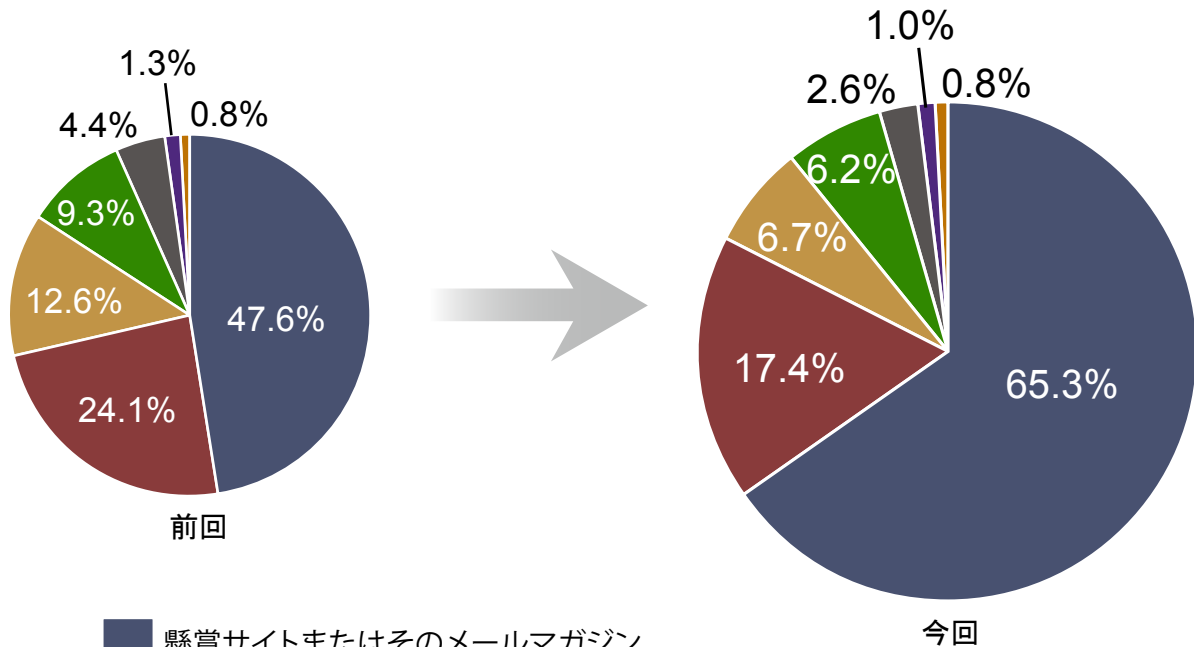


性別	学生	会社員	自営業	主婦	無職	その他	総計
女性	164	1,727	150	3,211	189	490	5,931
男性	75	1,952	329	58	439	266	3,119
総計	239	3,679	479	3,269	628	756	9,050
職業別構成	2.6%	40.7%	5.3%	36.1%	6.9%	8.4%	100.0%

職業別では、会社員（40.7%）と主婦（36.1%）に集中しており、前回同様この2つで全体の8割近くを占めます。また、無職も4.0%→6.9%と増加しています。

問1

このサイトをどこで知りましたか？



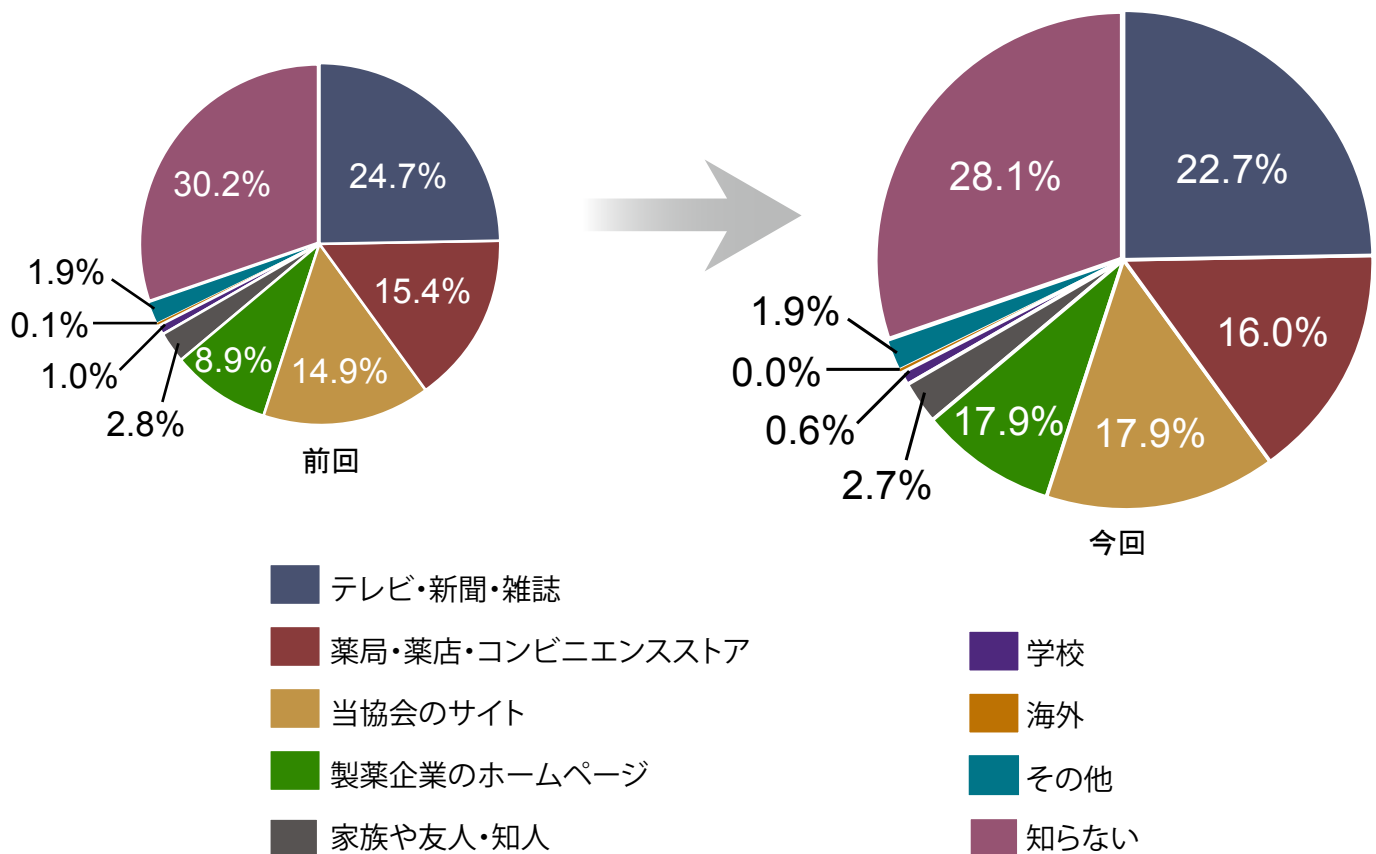
- 懸賞サイトまたはそのメールマガジン
- 製薬会社のトップページの告知や健康関連サイトの広告
- WEB検索の結果
- 家族や友人・知人からの情報
- 前から知っていた
- 新聞や雑誌
- 当協会発行の小冊子(セルフメディケーション・ハンドブック)

問1.このサイトをどこで知りましたか？	総計	構成比
懸賞サイトまたはそのメールマガジン	5,909	65.3%
製薬会社のトップページの告知や健康関連サイトの広告	1,579	17.4%
WEB検索の結果	603	6.7%
家族や友人・知人からの情報	562	6.2%
前から知っていた	232	2.6%
新聞や雑誌	95	1.0%
当協会発行の小冊子(セルフ・メディケーションハンドブック)	70	0.8%
総計	9,050	100.0%

今回は「懸賞サイトまたはそのメールマガジン」が、65.3%という圧倒的多数となりました。2番目に多い「製薬会社のトップページの告知や健康関連サイトの広告」も過去最多となりました。「WEB検索の結果」も増加しており、インターネットを介したこの三つの流入経路で全体の89.4%を占めます。

問2

『OTC』もしくは『OTC医薬品』という言葉はどこで知り（聞き）ましたか？



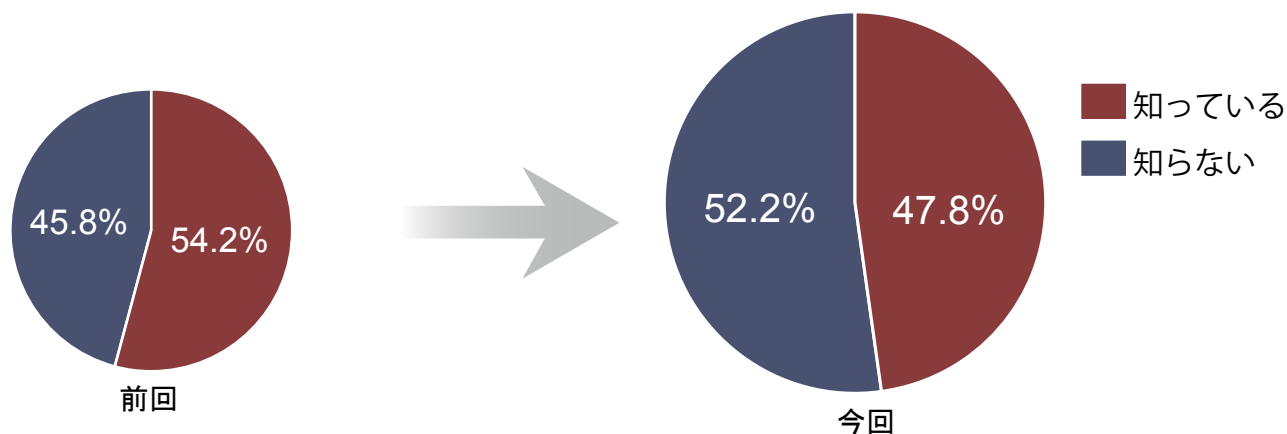
問2.「OTC」もしくは「OTC医薬品」という言葉をどこで知り(聞き)ましたか？	集計	構成比
テレビ・新聞・雑誌	2,052	22.7%
薬局・薬店・コンビニエンスストア	1,447	16.0%
当協会のサイト	1,617	17.9%
製薬企業のホームページ	916	10.1%
家族や友人・知人	247	2.7%
学校	52	0.6%
海外	4	0.0%
その他	175	1.9%
知らない	2,540	28.1%
合計	9,050	100.0%

「テレビ・新聞・雑誌」は減少し、「薬局・薬店・コンビニエンスストア」「当協会のサイト」と「製薬企業のホームページ」がそれぞれ微増しています。薬事法改正関連のニュースが収束して、マスコミで取り扱われる事が少なくなった事が原因だと考えられます。

一方、OTC医薬品という言葉「知らない」という回答は未だに30%近くありますが、前回と比較して少しずつ認知が広まっている事も確認できました。

問3

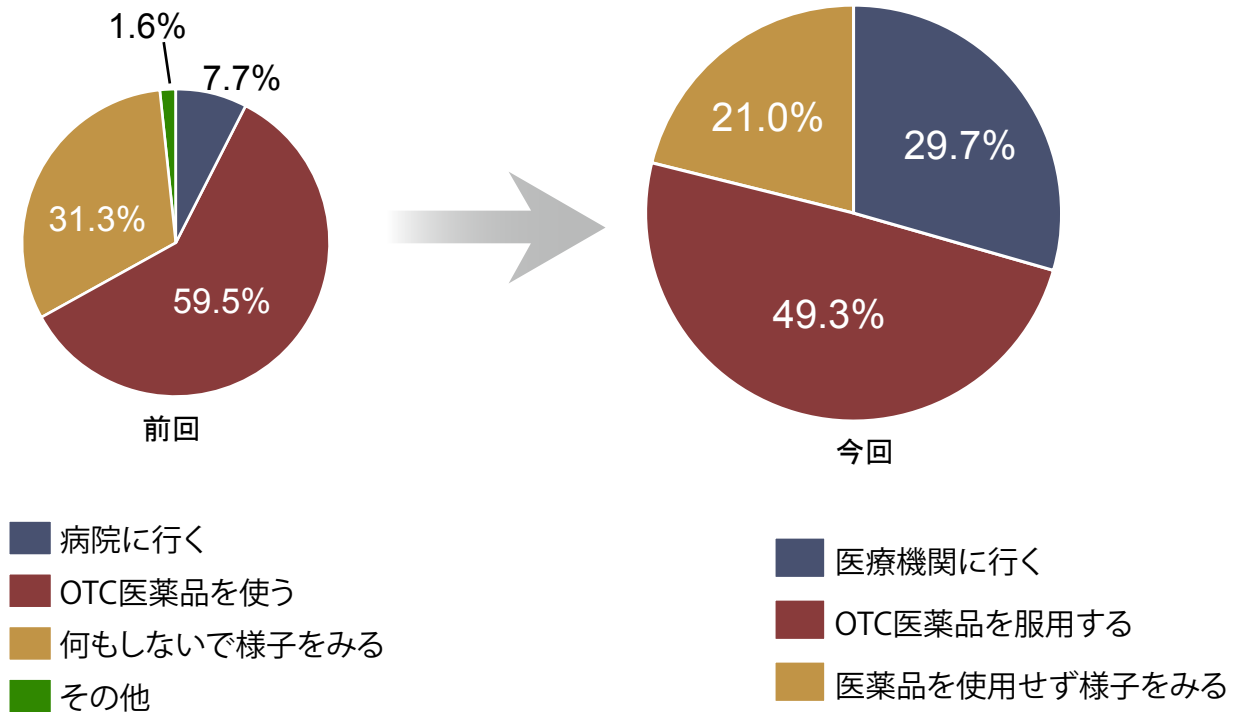
OTC医薬品が「第1類医薬品」「第2類医薬品」「第3類医薬品」の3つのグループに分類されたことをご存知ですか？



問3.OTC医薬品が「第1類医薬品」「第2類医薬品」「第3類医薬品」の3つのグループに分類されたことをご存知ですか？		構成比
知っている	4,324	47.8%
知らない	4,726	52.2%
合計	9,050	100.0%

医薬品の分類表示について、「知らない」と答えた方が過半数いらっしゃいました。前回の45.8%より増えてしまったのは、新規応募者が増えた事によるものと考えられます。

問4 かぜをひいた時や胃腸の調子が悪い時に、あなたはどうしますか？

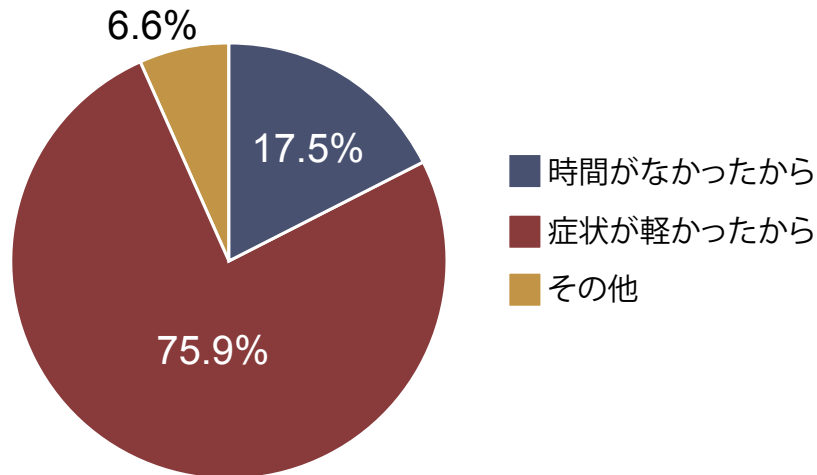


問4.かぜをひいた時や胃腸の調子が悪い時に、あなたはどうしますか？		構成比
医療機関に行く	2,691	29.7%
OTC医薬品を服用する	4,462	49.3%
医薬品を使用せず様子を見る	1,897	21.0%
合計	9,050	100.0%

軽い病気のケアに、「医療機関に行く」と答えた方が30%近くあり、前回より大幅に増加しました。「OTC医薬品を服用する」と「医薬品を使用せず様子を見る」が減少しました。

問5

問4で2を選んだ方に質問です。
あなたがOTC医薬品を選んだ理由は何ですか？

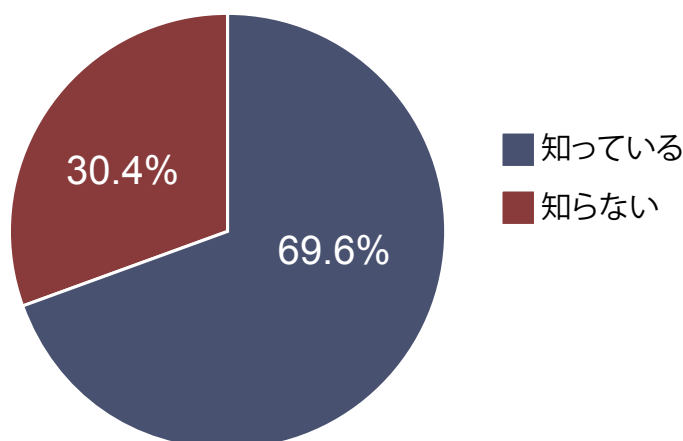


問5.問4で2を選んだ方に質問です。あなたがOTC医薬品を選んだ理由は何ですか？		構成比
時間がなかったから	864	17.5%
症状が軽かったから	3,738	75.9%
その他	323	6.6%
合計	4,925	100.0%

OTC医薬品を選んだ理由は、「症状が軽かったから」が75%を占めました。「時間がなかったから」は予想に反して20%以下という結果です。この事から、生活者は症状が重い場合、例え時間的余裕がなくても医療機関で受診する事を優先していると考えられます。

問6

「第1類医薬品」は購入する際、薬剤師からの説明が義務づけられています。ご存じですか？

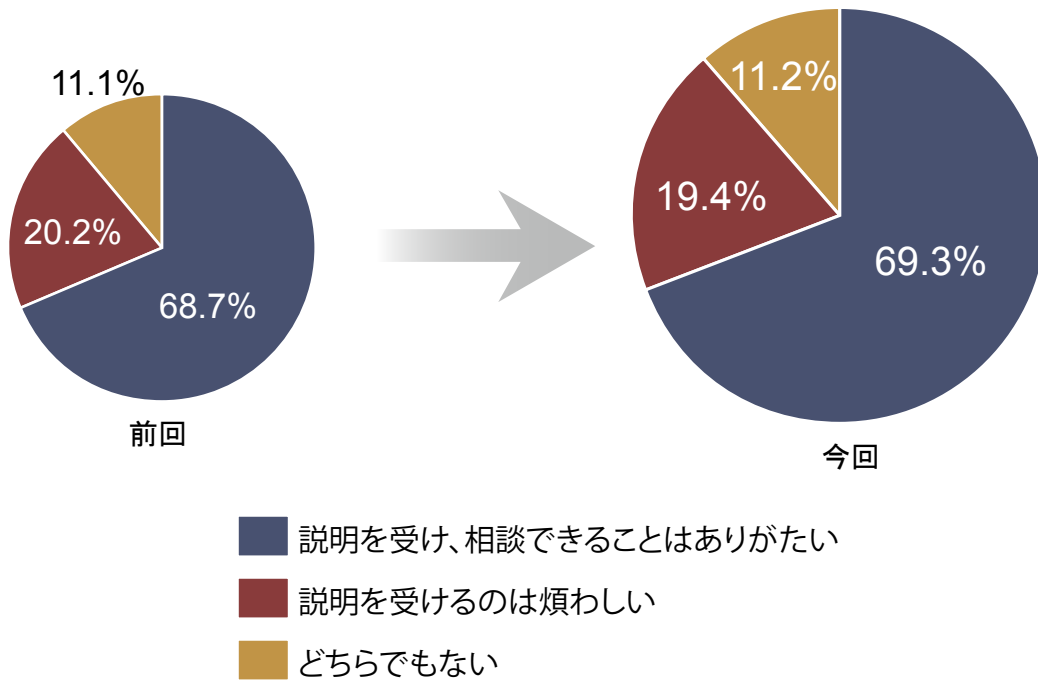


問5.「第1類医薬品」は購入する際、薬剤師からの説明が義務づけられています。ご存じですか？		構成比
知っている	6,296	69.6%
知らない	2,754	30.4%
合計	9,050	100.0%

「第1類医薬品」の説明義務に関しては、7割近くの方が「知っている」と答えています。問4で、OTC医薬品が3つのグループに分類された事を「知らない」と答えた方が過半数ありましたが、少なくとも「第1類医薬品」の存在だけは認知されているようです。

問7

薬剤師から説明を受けることについて、どのように感じますか？

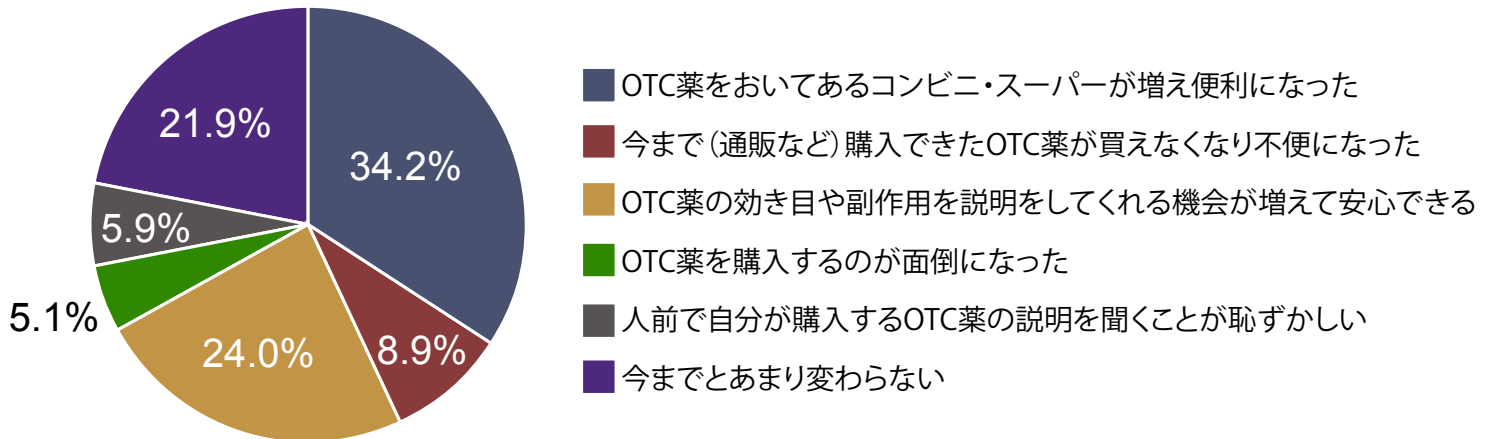


問7.薬剤師から説明を受けることについて、どのように感じますか？		構成比
説明を受け、相談できることはありがたい	6,276	69.3%
説明を受けるのは煩わしい	1,758	19.4%
どちらでもない	1,016	11.2%
合計	9,050	100.0%

薬剤師から説明を受けることについては、70%近くの方が「説明を受け、相談できることはありがたい」と答えています。今回は新規の応募者数が増加しましたが、ほぼ前回と同様の結果となっていますので、老若男女の広い層が薬剤師の説明を求めている事が考えられます。

問8

OTC医薬品の購入についてどのように感じますか？ (複数回答可)

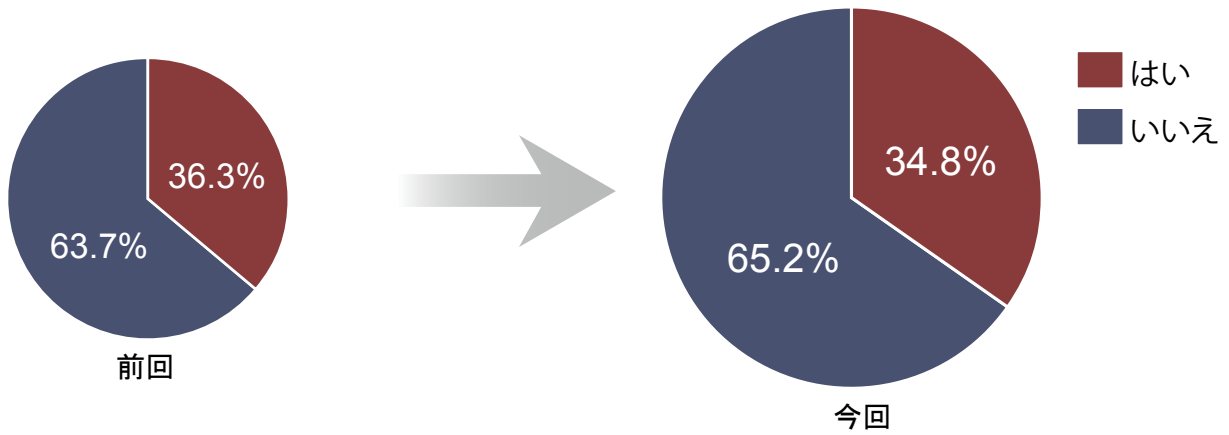


問8.OTC医薬品の購入についてどのように感じますか？(複数回答可)		構成比
OTC薬をおいてあるコンビニ・スーパーが増え便利になった	4,137	34.2%
今まで(通販など)購入できたOTC薬が買えなくなり不便になった	1,078	8.9%
OTC薬の効き目や副作用を説明をしてくれる機会が増えて安心できる	2,906	24.0%
OTC薬を購入するのが面倒になった	615	5.1%
人前で自分が購入するOTC薬の説明を聞くことが恥ずかしい	710	5.9%
今までとあまり変わらない	2,644	21.9%
合計	12,090	100.0%

「コンビニ・スーパーが増え便利になった」と「効き目や副作用の説明をしてくれる機会が増えて安心できる」が多く、「不便」や「面倒」と答えた方が少ない結果となりました。改正薬事法の施行後、生活者にとっては利便性が上がっていると考えられます。

問9

OTC医薬品も医療費控除の対象となることをご存知でしたか？



問9 OTC医薬品も医療費控除の対象となることをご存知でしたか？		構成比
はい	3,149	34.8%
いいえ	5,901	65.2%
合計	9,050	100.0%

「いいえ」の回答が65%と、前回とほぼ同様の結果となりました。OTC医薬品が医療費控除の対象となる事について、認知が広がっていない事が分かりました。